



第23回大里峠越え交流を開催しました

飯豊山系砂防事務所

10月16日(日)に山形県小国町と新潟県関川村を繋ぐ「第23回大里峠越え交流(※1)」を開催しました。またこの日初めて小国町長、関川村長、それぞれの町村の議会議員が一堂に会することとなりました。

飯豊山系砂防事務所では、土石流模型実験、土砂災害に関連するパネル展示、羽越水害の記録映像上映を通し、地域の皆様との交流を図り、土砂災害の啓発活動を行いました。

土石流模型実験では土石流に見立てた多くの小石が砂防堰堤に捕捉され、下流の被害が軽減される様子を参加したみなさんに熱心に観察していただきました。また、来年の羽越水害50年記念事業に向けた災害当時の写真や記録を紹介するパネルを見て、当時を振りかえる方も多くいらっしゃいました。

各企画をご覧になった方からは「模型実験から砂防堰堤の大切さがわかった。」「羽越水害を語り継ぐことが大切!」等、貴重なご意見をいただきました。



山頂で木札を奉納する関川村長

パネルを展示しました。特に昔の写真はみなさんの関心を集めていました。



羽越水害の記録映像上映



土石流模型実験は子どもたちに大盛況でした。

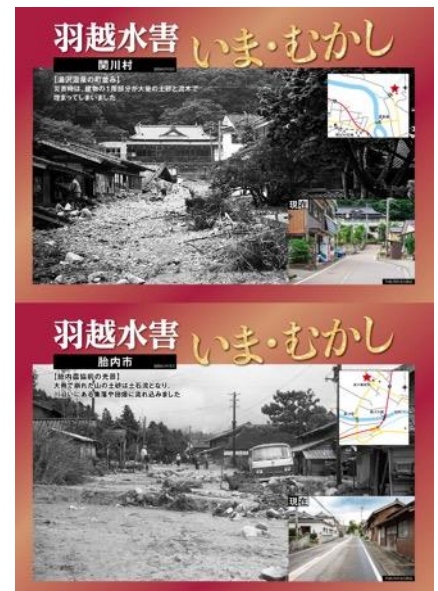
※1

関川村 <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/topic/1016/index.html> 小国町 <http://www.town.oguni.yamagata.jp/tourist/event/oori/oori.html>

<参加者からのご意見・ご感想>

- 小国の生活は砂防ダムがあるおかげで土砂災害が防げていると思う。(50代女性)
- 土砂災害警戒区域の現状がネットにわかりやすく掲載されていれば良いのではないかと。(60代男性)
- 近年雨の降り方や他地域での災害を見ても、いつどこでこのような災害に見舞われてもおかしくない。決して他人事ではない気がします。この羽越災害を後世に伝えることはとても重要だと思いますので、展示パネルを子供達にも理解しやすい、興味が向くようなパネルも作って欲しい。(40代女性)
- 土石流模型実験装置がおもしろかった。(小学生 男性)

貴重なご意見ありがとうございました。
今後の砂防事業の参考にさせていただきます!



羽越水害当時と現在とを比較した展示パネル